

研究報告書

研究課題：B（一般）
（平成26年度）

平成 28 年 4 月 13 日

公益財団法人 がん研究振興財団

理事長 高山昭三 殿

研究施設 旭川医科大学病院薬剤部

住 所 〒078-8510

北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

研究者氏名 福土 将秀



(研究課題)

マルチキナーゼ阻害薬とその代謝物の薬物動態評価系の構築と最適処方支援

平成27年 2 月 6 日付助成金交付のあった標記指定課題について、平成26年度の研究成果についてご報告いたします。

平成 26 年度がん研究助成金（一般課題 B）

研究成果報告（1 年目）

氏名：福土 将秀

所属機関・職：旭川医科大学病院薬剤部・准教授

【研究課題名】

マルチキナーゼ阻害薬とその代謝物の薬物動態評価系の構築と最適処方支援

【研究内容】

本研究では、大腸がん患者におけるレゴラフェニブの最適処方支援を目指して、未変化体と主要代謝物（N-オキサイド体、N-オキサイドアミド体）の薬物動態評価系を LC-MS/MS 法を用いて構築した。また、 β -グルクロニダーゼ処理によりグルクロン酸抱合体の濃度を間接的に定量する手法を開発した。これまでに、重篤な手足皮膚障害を発症した症例において、代謝物プロファイルが他と異なるという興味深い知見を得た。今後は、レゴラフェニブと代謝物の PK プロファイルに及ぼす代謝酵素やトランスポータ、相互作用等の影響について解析を進めて行く。

(249 文字)